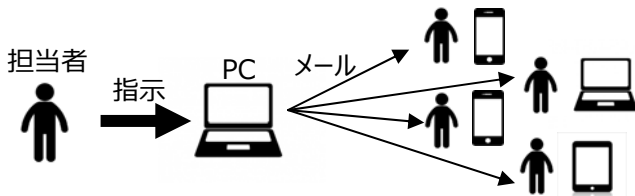


これから普及が進む、「クラウド会計」とは!?

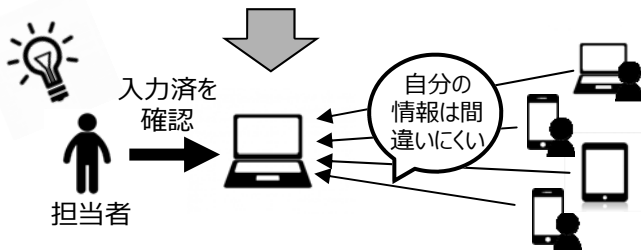
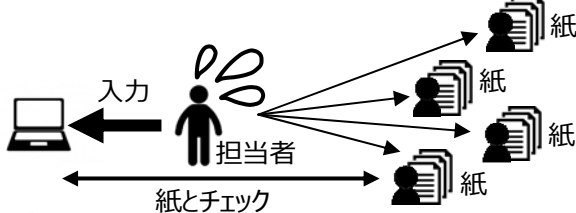
3. クラウド給与の現状と今後

クラウドの利用は、「給与」の分野にも広がっています。そのきっかけは、マイナンバー制度の開始でした。

特定個人情報を扱うため、作業を増やす方法はあまり好ましくありません。また、作業はできるだけ軽減したいという要望もありました。そのため、マイナンバーを本人に入力してもらう方法が考えられました。



このやり方が可能になった背景には、スマートフォンなどの通信機器の急速な普及があります。各個人が直接入力することで、今まで担当者がチェックしていた時間が大幅に短縮されました。



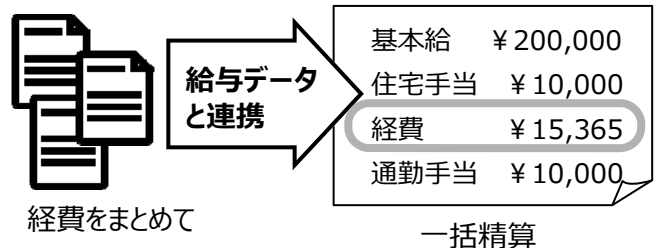
給与明細のペーパーレス化も進んでいます。最新の方法の場合、給与明細を社員個人にメールで案内し、Web上で確認できます。この方法だと、過去分も

簡単に確認できます。また、例えば遠隔地の支店や、シフトの都合で入社していない社員への給与明細の配布もスムーズです。

このように、会社と社員間でデータのやり取りがスムーズにできるようになると、全社員に同時に配布して一斉に回収する年末調整のような業務は、非常に効率が良くなります。

加えて、今後は、付帯サービスとして経費精算機能の発展が見込まれています。毎月の経費支払いの情報が取り込まれ、給与に反映されるしくみです。

最終的には、専門知識・専任スタッフなしでも簡単に給与計算ができるようになるでしょう。



クラウド
給与の
メリット

- 本人に入力してもらうため、会社責任の入力ミスがない。
- 全員への配布がスムーズ。
- 個人情報の取り扱い人数を減らせる。

クラウド
給与の
デメリット

- 入力端末を持っていない社員に対しては、別のアプローチが必要。
- 個人情報をインターネット上に上げるのが心配な人がいる。

<詳細やご不明点等、お気軽にご連絡ください。(担当：鉄本) ☎084-931-1428>